

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	NESTING博多
------	-----------

公表日 2024年12月27日

利用児童数 37

回収数 26

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	18	4	0	4	身体を動かすには狭そう	体育館等お借りしての運動はじめ事業所内でも体を動かせるプログラムの導入などで工夫いたします
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	18	2	0	6		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19	0	0	7		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	22	0	0	4		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	24	0	0	2		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	21	0	0	5		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	22	0	0	4		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20	0	0	6		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	22	0	0	4		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	21	0	0	5		
保 護 者 へ の 説 明 等	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	12	2	2	10		
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	22	4	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	26	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15	0	5	6		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	18	2	0	6	もう少しコミュニケーションをとりたい	各連絡手段を用い連絡が取れるよう体制を整えております
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18	3	0	5		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18	4	0	4		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	19	0	1	5		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	20	3	0	3		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19	0	0	7		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	20	1	0	5		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20	3	0	5		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16	1	0	9		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15	1	0	10		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	20	3	0	5		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	21	3	0	4		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	24	1	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	24	1	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	25	0	0	0		

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	NESTING博多		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 10日		~ 2024年 12月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37	(回答者数) 26
○従業者評価実施期間	2024年 10月 20日		~ 2024年 12月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 27日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	デジタルツール、クリエイティブツールを充実させており児童が必要としている技術分野についての技術的な支援や、それを通じた療育支援を行っている。	福祉的な見識が高まるよう様々な機会を通じ職員の持つ知見の共有を図り、円滑なコミュニケーションが出来る環境を維持する。	ケース会議はじめ情報共有が徹底されるよう習慣づけている。
2	就労を模擬的に療育に落とし込んでおり、細分化し児童が活動に取り組みやすいようハードルを下げた支援を行っている	全職員が様々なクリエイティブ分野について技術研鑽に努めている。	プログラムをによって利用児童の出席具合に幅があるため、均衡化を図るため様々な別案を用意していく
3	日々異なるプログラムを設けており、児童の可能性が一つでも多くなるような機会提供に努めている。	全職員が日々の集団プログラムについて意見を出し合える環境を継続している。	外部講師を招くなどより開かれた事業所を目指し打ち合わせを重ねている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動スペースは支援提供上十分ではあるものの体を大きく動かしたりするには不十分であり、動線も走り回るのには適していないため、突発的な児童の走りだしなどに対応が難しい場合がある。	年齢的なものはじめ児童の障害特性、楽しい感情のコントロール能力の不足、職員による声掛けの内容や手法による不足。	静かな活動と動的な活動をキレイに分け、児童が混乱せず活動に取り組めるような仕組みづくり。
2	集団行動が苦手な児童に対する支援について難儀する場面が見られる。	年齢的なものはじめ児童の障害特性、楽しい感情のコントロール能力の不足、職員による声掛けの内容や手法による不足。	自発的に活動に参加できるような魅力的なプログラムの創出や特性に合わせた説明のバリエーションを増やす。
3	ビジネスの中心地からそう遠くない事から送迎時間を鑑み早めに利用が終わってしまう場合がある。	都会であること、送迎車の車種。	送迎車の拡充、親御様への協力依頼。